



2012. 8月発行 No.66

東北森林管理局 藤里森林センター

〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

Tel 0185-79-1003 Fax 0185-79-1005

eメールアドレス t-fujisato@rinya.maff.go.jp

深緑の白神山地 山頂に吹く爽やかな風

7月7日(土) 森林ふれあい推進事業「深緑の白神山地での藤里駒ヶ岳登山」を開催しました。今回のイベントには秋田市や能代市のほか、県内外から21名の方々に参加していただきました。当初は雨の予報でしたが、時折青空ものぞくほどに回復し、暑くもなく登山しやすい天気になりました。はじめに森林センターで開会式を行った後、バスで黒石沢コースの登山口まで移動し準備運動をしてから、早速登り始めました。田苗代湿原では、ちょうどニッコウキスゲが見頃を迎えていました。参加者の皆さんは、職員から湿原の成り立ちや植物の説明を聞きながら、持参したデジカメで写真を撮るなど思いおもいに楽しんでいました。登山道は前日までの雨で滑りやすい箇所もあったことから、足元に注意しながらゆっくり登りました。途中、少し遅れた方はいらしたものの、全員無事に登頂することができました。山頂からの眺望は残念ながらあまり良くありませんでしたが、小岳や田代岳などの説明に、参加者の方も笑顔で頷いていました。また、山頂でのお弁当もおいしく最高でした。下山時も足元は悪かったのですが、予定より早いペースで、



ニッコウキスゲを觀賞(田苗代湿原)



山頂の眺望は?(藤里駒ヶ岳)

無事登山口まで戻ってくることができました。

参加者の方からは「説明が丁寧でとても良かったです。」「バスの中でのお話もとてもためになり、登山道での花や木の話もとても参考になりました。」「心地よい汗と自然を楽しむことが出来ました。」などの感想をいただき、無事、イベントを終了することが出来ました。

当センターでは、たくさんの方に自然と親しみ、学び喜び、森林とのふれあいを持っていただけるよう努めていきます。

澄み渡る空の下、絶好の森林教室に

6月19日、藤里小学校の5年生児童19名が、藤里森林センター研修棟において森林教室の事前学習を行いました。

佐藤森林センター所長より自己紹介を兼ねた挨拶を行い、その後、スライドを交えながら世界の森林と日本の森林との比較や、森林の持つ重要な働き、白神山地の豊かな動植物の話など1時間の講義を行いました。途中講義を中断し、木の標本や木の葉に触れてもらい、児童たちは木の種類によって異なる樹皮の感触や葉の形・大きさ、香りなどを興味深そうに学習していました。

講義終了後、岳岱のジオラマをもとに、小倉所長補佐より現地の概略説明を行いました。



真剣な表情で事前学習に励んでいます



田苗代湿原での自然観察

6月26日、梅雨時期にも係わらず雲一つ無い晴天に恵まれ5年生児童19名全員が参加し、絶好の現地学習となりました。はじめに森林センターで開会式を行い、児童代表の男の子から「田苗代湿原には初めて行くので、とても楽しみです。岳岱は幼稚園のときに行って以来なので、400年ブナやカエルの卵を見たいです」との挨拶があり、張り切って山へ向かいました。

田苗代湿原では、ショウジョウバカマやニッコウキスゲなどの植物が咲いており、児童たちは真剣なまなざしで観察し、メモをとっていました。

また、エゾハルゼミ、ウグイスなどの鳴き声にも耳を傾け、森には様々な音があることを実感していました。続いて岳岱自然観察教育林へ移動し、を行いながら、林内を散策しました。児童たちは、「これブナだ!」「これホオノキだ!」「カツラはどこだ?」と葉っぱを見つけては、ビンゴシートに印をつけて楽しんでいました。

最後に、児童代表の女の子から、「田苗代では、きれいな空気と水の中で、きれいな花の咲く植物が、沢山育つことを知りました。岳岱の400年ブナは大きくてすばらしかったです。白神山地や森林のことをたくさん教えてくれてありがとう」と心のこもったお礼の言葉をいただき、森林教室を無事に終えることができました。



岳岱自然観察教育林（モリアオガエルの池）